

丹波の森若者塾

丹波地域の6高等学校の高校生が、丹波地域で活動を行う協力大学と連携しながら、1年を通じて地域課題解決のための研究活動を行う事業です。

丹波青少年本部だより

第 61 号

篠山東雲高校

農業を利用したまちなみの環境保全～景観保全から動物の環境保全まで～

篠山東雲高校は宿場町として栄え歴史ある町並みが現在も残っている福住地区にあります。福住地区は、高齢化で耕作放棄地が増加しており、地域資源の活用と地域活性化対策として、放置竹林の有効利用を行いました。

環境保全と景観をよくするためのバス停改修にあたり、福住地区を知る学習会を開催し、町並みに沿った改修の重要性を再確認しました。その後、竹を貼り付けたプランターカバーやベンガラ染めの背もたれカバーを作製し、重要伝統的建造物群保存地区の全国大会で展示しました。

また、老朽化したヤギ小屋を改造するため、プラスチックの模型で設計し、使用する竹を切り出し、看板を作成しました。今後もヤギ小屋改造計画を続けて行きます。

放置竹林などの資源を利用して、地域の景観保全や地域貢献に取り組み、よりよい動物の環境づくりをしていきたいです。

